

大山恵みの里だより vol. 31

「手づくり工房 大山恵みの里」 商品披露・試食会

7月7日、中の原スキーセンターにて、大山町農産物処理加工施設「手づくり工房 大山恵みの里」の商品披露・試食会を行いました。

当日はマスコミ関係者、大山町・議会関係者、大山恵みの里生産者部会役員、取引先など100人を超える来場がありました。大山恵みの里公社理事長である森田増範町長が「大山の恵みを受けた農産物を活用し、大山町を全国にアピールしたい」と挨拶しました。

「正直に、まじめに」をモットーとして、ひとつひとつ丁寧に作り上げたメンチカツやハンバーグ・カレーなど、13種類のレトルト・冷凍食品をお披露目し、



▲「どれもおいしそうねー」試食会の様子

試食していただきました。来場者からは「カレーはスパイスが効いていて美味しい」「チキンコロッケはヘルシーな感じ」など手応えのある感想をいただきました。

披露した商品は、7月17日より道の駅や、大山恵みの里公社のインターネット（URL…<http://shop.daisen-megumi.jp/>）で販売を開始したほか、ハンバ

ーグ・カレー・メンチカツなどは道の駅のレストラン「大山きやらぼく」でも味わっていただけます。

今後はデパート・スーパーにも販路を拡大し、多くの方に大山の恵みを楽しんでいただけるよう展開します。

加工品部会が 道の駅キララ多岐を 視察



今年から活動を開始した大山恵みの里公社の生産者部会。その中の加工品部

会の主催で、7月8日、道の駅キララ多岐、道の駅奥出雲おろちループ（いずれも島根県）の視察を行いました。

これは「より売れる加工品をつくるために、先進地を視察しよう」との部会メンバーからの発案によるもので、当日は26名の生産者が参加しました。店舗視察の後、それぞれの店舗責任者から、販売を伸ばし利益を上げるための工夫などについてお話を伺いました。

参加した生産者は、これから商品開発や販売のためのさまざまなヒントをつかんで帰路につきました。

編集後記

この時期しか見られないお花畑を取材しようとカメラなど機材を手に大山ユートピアへ企画情報課有志5人で出かけました。

途中、私の登山靴の靴底が剥がれるというアクシデントが発生。手ぬぐいを細く裂き、靴ごと縛りつけてもらってなんとかユートピアまで登ることができました。手ぬぐいが巻かれた私の靴を見かねて、別の登山グループの方が、持っておられた「結束バンド」でさらに応急処置をしてくださいました。登山の苦勞の甲斐もあってユートピアのお花畑は素晴らしかったですが、それ以上に人の優しさに身に染みしました。（ひろ）



▲シモツケソウ(手前)とナンゴククガイソウ(奥)
大山ユートピアにて(7月25日撮影)



大山町広報 9月号 No.84

◆発行：大山町役場

◆編集：企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-5216

大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社

毎月10日は
ノーレジ袋デー

私たちのまち（8月1日現在）

○人口：18,276人（-12）

男：8,699人（-7）

女：9,577人（-5）

○世帯数：5,866世帯（0）



大山ユートピア小屋



この印刷物は
大豆インキを使用しております。

この広報紙は、環境に配慮した
再生紙を使用しています。